作成日 2010 年 10 月 19 日
改訂日 2025 年　5 月 13 日

安全データシート

1.【 化学品及び会社情報 】

製品名	**サーベルDF**
供給者の会社名称	丸和バイオケミカル株式会社
住所	東京都千代田区神田須田町 2-19-23
担当部門	開発本部　登録・環境グループ
電話番号 / FAX	Tel:　03-5296-2313　　Fax:　03-5296-2323
推奨用途	除草剤
使用上の制限	農薬登録以外の使用は不可
整理番号	22529-06

2.【 危険有害性の要約 】

化学品の GHS 分類（分類 JIS）

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
環境有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分 2
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分 2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激 長期継続的影響によって水生生物に毒性
注意書き【安全対策】	取扱後は手をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。
【応急措置】	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。 漏出物を回収すること。
【保　　管】	なし
【廃　　棄】	内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

3.【 組成及び成分情報 】

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	メトスルフロンメチル： メチル=2-[3-(4-メトキシ-6-メチル-1,3,5-トリアジン-2-イル)ウレイドスルホニル]ベンゾアート

成分及び含有量		化審法 No.	安衛法 No.	CAS No.
＜有効成分＞				
メトスルフロンメチル	60.0%		8-(3)-813	74223-64-6
＜その他＞				
界面活性剤等	40.0%			
（成分 A	非公開）			

4.【 応急措置 】

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は医師/中毒情報センターに連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り除く。皮膚を水で洗う。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師/中毒情報センターに連絡する。口をすすぐ。 牛乳やアルコール飲料を与えない。 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	皮膚に接触すると有害。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	吸入、摂取および皮膚と眼への接触を避ける。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じた治療を行う。

5.【 火災時の措置 】

適切な消火剤	粉末消火薬剤、水噴霧、二酸化炭素（CO_2）、泡消火薬剤
使ってはならない消火剤	棒状注水を避ける
火災時の特有の危険有害性	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。 火災により、刺激性、腐食性および/または有毒ガスが発生する可能性がある。 窒素酸化物（NOx） 硫黄酸化物 炭素酸化物 シアン化水素
特有の消火方法	安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。 密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。 化学物質の火災に対する標準手順に従う。 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消防士は保護服と自給式呼吸器を着用する必要がある。

6.【 漏出時の措置 】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	こぼれたものに触れたり、歩いたりしない。 安全に実行できる場合は、漏れを停止する。 保護具を使用する。 安全な場所に避難する。 粉じんの発生を避ける。 粉じんを吸い込まないよう留意する。 十分な換気を確保する。
環境に対する注意事項	製品を排水施設に流してはならない。 安全を確認してから、漏れやこぼれを止める。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	再利用するために流出物を元の容器に戻さない。 こぼれた物質を拾い上げ、粉じんを発生させずに適切にラベルが貼られた容器に移す。 コンクリートやその他の非多孔質表面に液体をこぼした場合は、少量の石けんと水でその地域を掃除する。 洗浄液が排水管に入らないようにする。

不活性吸収材を使用して洗浄液を吸収し、適切なラベルが貼られた容器に移す。
流出が土壌上で発生した場合、その地域を除染する唯一の効果的な方法は、土壌の上部5～7cmを除去することである。

7.【 取扱い及び保管上の注意 】

取扱い

技術的対策	粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。
安全取扱注意事項	吸入性粉じんが発生しないように留意する。 蒸気/粉じんを吸い込まない。 皮膚や眼への接触を避ける。 個人保護については項目 8 を参照する。 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。 洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
接触回避	強酸、強塩基、酸化剤との接触を避ける。
衛生対策	皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 粉じんを吸入しない。 使用中は飲食しない。 使用中は禁煙。 休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件	容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。 一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。 酸の近くに保管しない。 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
安全な容器包装材料	製品の容器包装材料にて保管する。

8.【 ばく露防止及び保護措置 】

設備対策	取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 救急箱とその使用説明書を、常備しておく。 作業場の近くに眼の洗浄装置と安全シャワーが設置されていることを確認する。

保護具

呼吸用保護具	適切な局所排気装置がない場合、あるいは、暴露評価によって、暴露量が推奨暴露ガイドライン以下であることが証明されない限り、呼吸用保護具を着用する。 フィルタータイプ：微粒子用タイプ
手の保護具	バリアラミネート、ブチルゴム、ニトリルゴムなどの耐薬品性手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）、保護面
皮膚及び身体の保護具	微粒子不浸透性保護服 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9.【 物理的及び化学的性質 】

物理状態	固体
色	淡褐色
臭い	無臭
融点/凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし

可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	適用なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	6.4（20℃、20%懸濁液）（測定値）
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
n-オクタノール/水分配係数（log値）	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	見掛け比重：0.66（測定値）
相対ガス密度	情報なし
爆発特性	非爆発性
酸化特性	非酸化性
粒子特性	300～1700μm

10.【 安定性及び反応性 】

反応性	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
避けるべき条件	極端な温度は避ける。 粉じんの発生を避ける。
混触危険物質	強酸、強塩基、酸化剤
危険有害な分解生成物	情報なし

11.【 有害性情報 】

急性毒性（経口）	ラット LD_{50}：♂♀>5000mg/kg（区分に該当しない）**
急性毒性（経皮）	ウサギ LD_{50}：♂♀>2000mg/kg（区分に該当しない）**
急性毒性（吸入）	ラット LC_{50}（4h）（粉じん/ミスト）：>5.3mg/L*
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ：刺激性なし（区分に該当しない）**
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ：中等度の刺激性を示したが、7 日後には全て消失したため、区分 2B とした。**
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性　情報なし 皮膚感作性　モルモット：感作性なし（区分に該当しない）**
生殖細胞変異原性*	データが不足しているので分類されていない。 Ames試験（代謝活性化の存在または不存在）：陰性 in vitro染色体異常試験（代謝活性化）：陽性 マウス小核試験：陰性 動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。
発がん性*	データが不足しているので分類されていない。 ラット♂♀（104週）：NOAEL 500ppm、陰性 マウス♂♀（18ヶ月）：NOAEL 5000ppm、陰性 動物実験では発がん性への影響は見られなかった。
生殖毒性*	データが不足しているので分類されていない。 妊娠に対する影響 二世代試験（ラット♂♀）：陰性 胎児の発育への影響 受精卵および胎児発育（ウサギ♀）：陰性 受精卵および胎児発育（ラット♀）：陰性 証拠の重要性からすると、生殖毒性性物質として分類されない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データが不足しているので分類されていない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）*	データが不足しているので分類されていない。 ラット♂♀（90d）：NOEL 1000ppm、体重減少
誤えん有害性	入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

*メトスルフロンメチルのデータ
**類似製品のデータ

12.【 環境影響情報 】

生態毒性

魚類	コイ LC_{50}（96h）：>1000mg/L**
甲殻類	オオミジンコ EC_{50}（48h）：>1000mg/L**
藻類	緑藻 ErC_{50}（72h）：1.307mg/L**
	短期（急性）：藻類の ErC_{50} 値より、区分 2 とした。
	長期（慢性）：急性区分 2 であり、急速分解性および生物蓄積性が不明であるため、区分 2 とした。
残留性/分解性*	生分解性：易分解性ではない。 一次分解の半減期は状況によって異なるが、好気性の土壌や水中では数週間から数ヶ月である。
生体蓄積性*	Lepomis macrochirus（ブルーギル）（28d）：BCF< 1 生物濃縮されない。 n-オクタノール/水分配係数：log Pow：-1.7（25℃、pH 7）
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報が十分でない（分類できない）

*メトスルフロンメチルのデータ
**類似製品のデータ

13.【 廃棄上の注意 】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。 認可された廃棄物処理業者へ委託する。 残りの容器を空にする。 製品入り容器と同様に処分する。 空の容器を再使用しない。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14.【 輸送上の注意 】

国連番号	3077
品名（国連輸送名）	環境有害物質（固体）（メトスルフロンメチル）
国連分類	9（有害性物質）
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。 輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。
国内規制がある場合の規制情報	船舶安全法、航空法の規制に従う。
応急措置指針番号	171

15.【 適用法令 】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

農薬取締法	第 22529 号
化学物質排出把握管理促進法（化管法）	該当なし

労働安全衛生法	第 57 条 表示対象物質、第 57 条の 2 通知対象物 成分A（営業秘密）
毒物及び劇物取締法	該当なし
消防法	該当なし

16.【 SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報 】

参 考 文 献：エフエムシー・ケミカルズ株式会社安全データシート1.1

緊急連絡先：03-5962-9731（9時～17時 土日祝を除く）

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒110番 365日24時間対応

	一般市民専用電話 （情報料無料）	医療機関専用有料電話 （1件2000円）
大阪	072-727-2499	072-726-9923
つくば	029-852-9999	029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

記載内容は十分な配慮に基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは情報を提供するものであって、品質や安全性等に関していかなる保証もするものではありません。危険・有害性等の評価は必ずしも万全ではありませんので、取扱いには十分注意を払って下さい。また、注意事項は通常の取扱いを対象としております。